

雜 錄

●製鐵保護

休戰と共に製鐵業が著しき打撃を蒙りし以來斯業保護の問題は當業者を始め工業俱樂部商業會議所等より當局に向つて提議さるゝに至り、當局としても前年製鐵業獎勵法を制定し其發展を促したる等の事情もある事として徒に之れを放任し置く能はざる立場に在り、旁之れか保護方針に付き調査の歩を進め來れるか、遂に該問題は先般財政經濟調査會に諮問案として提出され、調査會は更に小委員會を設け之れか永遠の策を確立せんとし、着々研究の歩を進めつゝあり、而して之か具體的方法に付ては當初舉つて關稅引上説に傾き、商業會議所、工業俱樂部の如き既に其新關稅率を具體的に定めて以て當局に陳情する處ありたり。然るに一方造船業者、機械製作業に於ては現在率に於てさへ動もすれば諸先進國に追從する能はざる状態にあるに拘はらず、若し此れ以上の高率關稅を課せらるゝに於ては到底其存立を完ふする能はず、然も此際造船業保護の意味を以て寧ろ關稅の徹廢を斷行す可しとて眞向より之れに反對し、亦機械製作業及利害の相反する一般産業者も次て反對したるを以て遂に關稅引上は直ちに之を採用する能はざるに至れり、右の如く關稅引上は我産業界に於て利害全く相容れざるもの存するを以て、今次の委員會は其兩派

を代表するものを委員に任命し諸産業が兩立し得る範圍内に於て最善の保護策を制定せんとするの方針に出たり。而して委員に於ける議論は相當多岐に亘れるものゝ如くなるか、先づ保護論者の最も有力なる論點の一つは、製鐵業の確立か國防上缺く可からざる事にて、今次の大戦に鑑るも一朝有事の際、自國に鐵を産せされは到底最後の勝利を占むる能はざるを證明したり、故に之か保護は國防上必然の方策なりと云ふにあり、然るに一方反對論者は鐵か國防上必要なるは今更疑を挿まざる處なりと雖も、一朝有事の際にありて獨り鐵のみならず殆と總ての物資か同様に必要にして若し鐵か戦争に必要なりとて過重の保護を加ふるとせは恐らくは同一筆法により始と總ての産業に同様の保護を加へざる可からざるなり、然るに或は化學工業、或は造船等何等の保護を受けずして破綻したるもの少しとせざるは何故ぞや。斯く考へ來れば鐵のみに過當の保護を與ふるは甚だ片手落なりと云ふ可しとて之に反對したり、斯くの如き形勢なるを以て當初極力關稅引上を主唱したる當業者も近來は徒に之れを主張する事なく、他に何等か良策を求めて造船業者、機械業者等の反勢を幾分緩和し、併せて更に新生面を開きて以て斯業の確立を計らんとするの態度を執るに至れるものゝ如し。更に關稅論者に對する批難の的となるは、由來關稅による保護は自國と外國との生産費の差額に課稅して自國內に於ける賣値を同一ならしめ以て産業

の存立を全からしめんとするにあり、故に若し關稅保護を受けんとせば、先づ其生産費を出來得る限り引下くる事に勉め然も尙及はざる處に對してのみ保護を請ふに於て始めて誠意あるものと云ふ可し、然るに我製鐵業者の如き未だ充分盡さる點を残し、然も尙保護を請ふか如きは甚た不當の處置と云はざる可からず、即ち現在に於ては各製鐵業者各分立して事業を營み居れるを以て、其經營上尙からず不經濟に陥れる點なしとせず、假へは或製鐵會社は充分の鑛石を有するも石炭に乏しく或は石炭豊富なるも鑛石に乏しきあり、或は甲製鐵會社の鑛石が乙會社に便利なる地點にあり或は乙會社のものか甲會社に便利なる地點にある事あり、又製品に於て甲の得意とする所乙の得意とする處各異なるあり、故に若し之等を打つて一丸とし或は鑛石或は石炭或は製品或は職工等に對し最も經濟的の整理を加ふるに於ては其生産費たるや必ず今日以下に引下くる事を得るや明かなり。尙一つは諸會社の固定資産が戰時中の建設に係り。甚た割高なるものあり、之れを相當に切下くる事も必要にして之れ等に對する負擔を整理せず徒に關稅保護を請ふへき無誠意も亦甚たしきものと云はざる可からず。斯かる事情は當業者と雖も全く承知せざるに非ず只合同の困難を伴ふ事はより以上承知の處なるを以て一昨年休戰當時に於ても既に一部には製鐵合同の議あり、原首相の如きも之を援助す可しと云へる事ありと傳へられたるか遂に其進捗

を見ず經過したり、然るに其後の形勢は關稅保護論者に甚た不利の状態となり其保護方法も先づ生産費の切下げに主力を盡し然も及はざる點に對して關稅を課する事寧ろ根本的方法なりと云ふに傾きたるを以て當業者も亦大に此點に自覺したる者の如く最近傳へらる製鐵大合同説の如き或は此邊より生したるものならずや、何れにしても先づ他の保護を請ふ以前當業者同志に於て最善を盡す事至當の順序にして誠意ある大合同は此際最も急務とする處なる可く關稅問題の如きは其後に於て起る可き問題なりと云ふ可しとなり。

(大阪時事)

●製鐵自給骨子 内地製鐵自給策に關しては目下經濟調查會に於て折角調査中なるか、該委員中製鐵問題特別調査委員たる今泉、寺野、今岡、郷、香村、三宅川等の諸氏は何れも一面日本工業俱樂部の製鐵自給に關する委員にして、從來同俱樂部に於て蒐集せる材料及講究の結果は直ちに經濟調查會に反映せしめつゝある次第なるを以て、結局大體の成案は工業俱樂部側の成案と大同小異のものを得るに至るへしと觀せらる、而して工業俱樂部か今日迄に得たる成案の骨子は

一、根本的自給策として鐵業組合の趣旨に依り銑鐵製鍊より鋼塊或は鋼片までの作業を重立つ大製鐵會社數個に於て製作し、更に之を鋼棒、鋼板、アングル等特殊の製作を目的とする小製鐵業者に配與せしめ以て生産費の節約

と礦石分付を圓滑ならしむる事。

二、將來米國銑鐵の我國輸入價格最低噸當り百圓とし、之に對して内地製鐵一噸の生産額を百二十圓と假算して其差開き廿圓に對して輸入鐵材一噸に對して從價一割五分の關稅を課し尙不足は政府に於て補助金を支給する事。の二項にして右第一項は之を實現するに多少の歲月を要するを以て差當り主として第二項を實施せむとするに在り、而して右は大藏省に於ても大體同意を表し造船業者側亦別段反對意見なしと謂へは經濟調查會に於ける鐵自給問題は結局此邊に落着すへきかと觀測せられ居れり。

●世界的鐵材不足 久しく安値に沈淪し物價騰貴の圈外におかれたる鐵材相場は春來強調に轉し各種とも一齊に擡頭し、就中丸棒アングル等は暴騰するに至つた、即ち現在相場と昨年末とを比較すれば左の如く騰貴してゐる。

	時價		比較	
	年	末	比	較
銑鐵	一五〇	一三五	一五	円
丸棒	二六〇	二二五	四五	円
板鐵	二四〇	一八五	五五	円
アングル	二五〇	一九〇	六〇	円

右によれば銑鐵の値上りは一割に過ぎざるものも丸棒は二割、板、アングルとも約三割の暴騰を演ずるに至つた、尤も年末相場は金融關係による處分投等ありて相場も需給を無視して低落した傾きがある、而して斯の如く鐵材が最

近に至り暴騰するに至つた原因は對内關係よりも寧ろ本國筋即ち英米に於ける製鐵産額の減少と需要の増加とか與つて力がある、内地の需給關係を見にアングルは最近各大都市に於ける都市計畫或は大規模の建築熱旺盛等により需要激増せるも板鐵は造船其他の需要依然として緩和であり、銑及棒鐵も事業界の不振と需要筋は最近まで先安見越により買手控への方針を執つてゐたから年末より本年に亘りて斯の如く暴騰すへき原因はないと謂はねはならぬ、概して本邦市場に於ける鐵材の高低は一に英米殊に米國市場の變動に依て支配されてゐる、最近の入電を綜合するも米國に於ける鋼鐵の生産狀態は職工の罷業終熄して餘日なく、生産數量も依然減少し居れるに反し、需要は國內の鐵道用として纏まりたる需要輻湊し居れるに搗て加へて戰時中禁制せられし建物條令の撤回により建築界が勃然として旺盛に向へるため、供給益々不足を告げつゝある、之かユエス社の如きは東洋及ひ南米方面より殺到する新規註文を絶對に謝絶し、コンソリデーター社にても賣繼の方針として優先權を附し所謂早い物勝にて少重の註文を引受けてゐるか、價格及び積出し期日を約定しない其他一流會社は事實發賣禁止の姿にあるため一時將棋倒しの如く相次て屏息して陰を潜めたる太平洋沿岸の小工場は再び操業に至つた、而して目下海外の註文に應し得るは太平洋沿岸の小會社なるか、三四月以後積出にて品質不良なるに拘ら

す本邦沖着二百三四十圓といふ内地よりも割高の相場なれば、之を輸入しても勿論不引合を免れない、米國の狀態は右の如く恰も大正七年七八月頃に於ける買付難の狀態にあるか、更に英國の狀況を見るに之れ又米國同様、勞働問題の影響を受けて産額減少し居れるに反し、産業復舊用として大需要あり、佛伊諸國の建造物、鐵道用の需要も輻湊し居れる爲多大なる供給不足を來してゐる、随つて價格も暴騰し、クリスマス以後三回に互りて値上を發表したか大口の賣物は絶無にて新規注文に對して小口乍ら五六月以後の積出に對して弗々商談に應しつゝある、即ち世界の製鐵國たる英米兩國の供給不足と之に次で獨逸は復活難にあると、白耳義の生産も常態にあらざるより、斯の如き世界的鐵材の供給不足を來したるものなれば、之か需給の平衡を得るは早急に望む事能はざるべく、對内關係の如何に拘らす内地鐵材は世界的供給不足に牽引されて前途昂騰歩調を辿るべく、若し之に思惑的買氣の氣勢を煽る事あらは往年に於けるか如き狂騰を見るやも知れぬ。(中央)

●米鐵活躍事情 米國に於ける鐵類は拂底の爲殆と禁出の狀態にある事は既記の如くなるか尙紐育發入電に依れば鋼鐵の如きは需要激増の結果、品極度に拂底し買手は賣手の云ひ次第の値に應せざるへからざるに至り、バーはユ社及コンソリデーター社物は一噸二百五十三圓、獨立會社物は二百五十八圓乃至二百六十三圓(本邦着相場)を

唱へ、銑鐵又百五十圓、クリスマス前相場に比し約二十圓方暴騰せる等市況益々活躍し今後尙騰貴は免かれざるへしと、而して米鐵か右の如く拂底昂騰するに至りたるに關しては屢報道したる處なるか其主たるものは生産費の激増罷工後産業回復遲延の結果供給不足を來したる一方、三月以後鐵道運賃を(三割乃至四割)引揚げ、加ふるに需要益々増加し殊に千九百十八年より現今迄鐵道の政府管理は多大の收入不足を來たし其結果鐵道の施設、改良、延長、修理は全く閑却せられたりしか、愈々本年三月以降再び民業に移さるる事となりて各鐵道會社は急速に向ふ三箇年繼續事業として大々の改良延長修理をなすことに決し、之に要する鐵材は數百萬噸に上るべく又時局以來米國々民か忍ひ來たりし鐵材不足は平和と共に益々需要激増したるに因るものなりと。

●米鐵と造船業 最近神戸某所への着電に依れば米國の製鐵事業は炭坑夫其他の同盟罷工の爲め著しく打撃を蒙り製産額の減退は延いて價格の奔騰を誘致し、丸棒二百七十圓、板アングル類二百四五十圓見當を唱へつつあるも賣物杜絶して年内物の買付は商談か不可能の狀態である、従て本邦新規注文品の輸入期は來年四月以降ならては出來ざる模様である、然るに近時往々低廉なる價格を以て本邦に向け引合し來る向あるも愈契約の間際に破談し來るか常にて之か爲め工業上の計畫を變更するもの尠からぬ狀態で

ある、米國に於ける鐵工業の斯る衰頹は一面我か造船業に多大の打撃を與へ新規材料を以てする建造船舶は明年下半期に非らされは進水の運ひに至らざるべく、各造船所共に本年中に既約品及び交換鐵材を消化し盡くして或は材料難に窮するなきやを憂ひ居れるか、是か爲更に船價の昂騰を來すへきとも觀測されて居る。

●英獨米製鐵業 全英國鐵鋼製造業者協會にては一九一九年度に於ける英、獨、米の銑鐵並に鋼鐵の製産額に就きて報告したるか、之に基づきて英、獨、米の一九一三年即ち戰前に於ける銑鐵並に鋼鐵の各月生産高と昨年度のそれとを夫々對照すれば左の如し。

銑鐵生産高(千噸)

一九一三年			
各月平均			
英	獨	米	
八五五	一、五八二	二、五八一	
一九一九年			
一月	六六四	四九九	三、三〇六
二月	六二五	四六九	二、九四〇
三月	六八四	五五一	三、〇九〇
四月	六五三	四三四	二、四七八
五月	六六二	五一七	二、一〇八
六月	六一二	五一九	二、一一五
七月	六六〇	五七二	二、四二九
八月	五二一	五六一	二、七四二
九月	五七四	五二四	二、四八八
十月	四四五		一、八六四
十一月	六三〇		二、三九二

鋼鐵生産高(千噸)

一九一三年			
各月平均			
英	獨	米	
六三九	一、五〇二	二、六〇八	
一九一九年			
一月	七一八	五五九	三、六九八
二月	七二四	五一六	三、二一九
三月	七五八	六三五	三、一六八
四月	六六八	四二八	二、六六五
五月	七五五	五九四	二、二九六
六月	六三一	六三一	二、六四一
七月	六八八	七八五	二、九八五
八月	四七四	七二九	三、二六九
九月	七一八	七二六	
十月	四三三		
十一月	六九三		

備考 右の表中米國の分銑鐵はアイオンエーデの月表鋼はアメリカン鐵鋼協會の報告に據る。

而して一九一九年十二月一日に至る英國の毎月平均生産高銑鐵六十一萬二千噸鋼鐵六十五萬四千噸にして獨逸に於ては十月一日に至る毎月平均生産高は銑鐵五十一萬六千噸鋼鐵六十二萬二千噸なるか、昨年十月に於ける英國鐵道同盟罷工並に同月米國製鐵同盟罷工は孰れも其生産高に甚大の影響ありたるを見る可し。

●内外製鐵趨勢 歐洲戰爭終熄と共に鋼鐵相場は急轉直下して未曾有の大波瀾を惹起したるも、昨年下半年期に入り諸事漸く更まり歐米製鐵業者は早くも平時工業に土臺

に歩を移し、殊に米國は政府を始めユー、エス社の如き大會社は舉つて輸出奨勵に意を注ぎ、或は獨立二十有餘箇の會社聯合して新にコンソリデーター、ステイル、コンパニーを組織して輸出の發展を計る杯上下一致して嘗て米國が戰時中に獲得せる世界に於ける鐵界の位置を失はさらんために努めたれば、茲に昨年來の内地諸地に散在せる處分品の一段落を告げたと共に、新規取引踵を次いて到り商内般盛相場徐々に上昇して頗る堅實を示し商人は何れも相當の利益を獲得して越年したり、斯の如く相場を堅實ならしめし原因は先づ米國及英國に於ける勞働問題にて就中米國に於ては九月末以來鋼鐵各工場の同盟罷工現出したるを以て之が產出激減を氣構へ頗る強氣を呈せるに依るなる可きも他方内地商の戰時中に得たる利益は巨額に達せるを以て其仕入れたる貨物を保持して賣り焦らさうしを得たるに依る事及財界頓に變化して諸種の事業勃興し鐵類の需要益増加せるに基因するものなるべく、而して米國に於ける鋼鐵ストライキは最近に至り全く終熄し各自其業に就きたりとの報ありと雖も、世界の勞働賃銀は此後昂騰するとも低落する可き徵候なきに依り當分著しき價格の低落を來すか如き事なからんとは一般當業者の觀測也、而して現在米國銑鐵は我國到着相場百四十圓、英國銑鐵百卅二三圓見當なるか故に、從つて内地製品即ち輪西一號銑鐵は百卅五圓、兼二浦銑鐵百廿五圓、釜石銑鐵百卅五圓、本溪湖銑鐵百廿五圓、東洋

銑鐵百卅圓見當を唱へ、若し此價格を維持するに於ては大體各社共苦し乍らも損失を出す程度ならざるか如く、去れは小規模の工場は別問題として大會社は未だ操業の短縮方針を執りたるもの無く、先づ本年度に於ても枝光製鐵所約四十萬噸、北海製鐵約十萬噸、釜石約十萬噸、兼二浦約八九萬噸、東洋製鐵約七萬噸合計約七十萬噸乃至七十五萬噸見當の生産ある見込にて、一方内地本年度需要は約八十萬噸内外なる可く、而して昨年度に於ける海外よりの輸入數量約二十萬噸内外なりしに鑑み今年の輸入は約十萬噸見當なれば、海外市場に於て著しく市價の低落を示し且つ輸出能力の増大せざる限り、今年中は大體需給の關係も圓滑なると共に斯界に甚たしき恐慌を惹起するか如きは無からんかと觀測する者あり。

●船鐵交換總勘定

日米船鐵交換船は目下續々發航し四月頃を以て出拂ふ等なるか、之が契約は一昨年四月頃とて戰時中船價及傭船料の最高値の時に於て行はれ其當時時價を以て計算せは第一回第二回に於て莫大の利益を獲得する等なりしか、戰後の今日時價を以て船鐵交換の總勘定をすれば最初の豫期は全く齟齬を來せるか如し、今第二回船鐵交換に由る利益を觀るに、輸入鐵材の鐵一噸にて船三噸を作り、二噸を米國に提出し一噸を我國の用途に充つる條件にして、船一噸の原費二百四十圓、提供船價三百五十圓差引利益百十圓、二噸につき二百廿圓、内地船價八百圓とし

て利益金五百六十圓、三噸の利益金七百八十圓之より鐵の代金一噸百五十圓として純益六百卅圓、之に廻航時に於ける日米間の運賃八十圓を加へ七百九十圓を收入する豫想なりしに、昨今に至り船價暴落し内地に於ける船價は三百五十圓となりたれば、曩に八十圓にして五百六十圓の利益を得んとしたるものは非常の齟齬を來し、専門家の言によれば一噸當七十圓、廿五萬噸にて一千七百五十萬圓位の利益に過ぎざるへきかといふ、尙一方運賃は目下四弗にて造船契約當時は四十弗なれば十分の一にて且載貨は又目下往時の半數にも達せざる有様なり即ち廿五萬噸の載貨噸數は三十萬噸なるか載貨か半數と見て十五萬噸、一噸四弗にて六十萬弗(百廿萬圓)に過ぎず之と造船利益一千七百五十萬圓とを加算して一千八百七十萬圓位なるへきかと。

●獨逸の再造船計畫 最近獨逸よりの情報によれば同國本年度の造船計畫は七十萬噸にして、若し豫定の實行を見るとすれば聯合國に引渡すへき船舶を控除するも、尙二三十萬噸は自國に於て運用し得らるゝのみならず、目下國內の貨幣相場著るしく下落し居るを以て、造船の如きも案外低廉にて引受け得らるゝの見込あり、若し造船材料が充分得らるゝとすれば本年中に百萬噸を建造し得る能力あるのみならず、前述の如く船價格安なれば獨逸にては此際材料の供給を受けて海外よりの造船引受をなす意志あり、昨冬諾威其他に向つて造船注文の引受を交渉したる由なる

か、實際の契約は未定なるも獨逸は最近米國に向つて造船鐵材の注文を發したりと云へば、例へ此際外國の注文を受けざる迄も相當の建造を見るに至るへしと信せらる。

●鞍山製鐵所改制

滿鐵鞍山製鐵所は從來四課制組織にて、其下に四科を存置し、課長及び科長を以て事務の敏捷を圖り、製鐵所々管以外の市街地施設經營の如きは全部本社地方部に於て管掌し居りたるも、本社及び他所との振合上、同所にて管掌することに變更し、新たに主として技術方面の事務を取扱ふ爲に研究部を設置し、所長之を兼務することゝなれるか、其代りに現在の科制度を廢止し、各課の分擔事務を確定せり、因に同所工務課長は缺員の儘にて工務次長心得として兼務し來りたるか、今回工學士にて同所工務課員足立祐一氏專任せられたり。

●製鐵値上

八幡製鐵所にては勞銀不足のため製鐵能力減退せるに加へて米國方材料の昂騰甚しきため今回丸棒二百二十圓と十圓鐵値上げを發表したりと。

●洋鐵相場奔騰

倫敦よりの入電は鐵物相場一齊昂騰を報し、新注文は品薄の爲め引受け不能の状態にて氣配益々先高を見越しつつあり、クリーブランド銑鐵一、二月積横濱着百三十八圓、瑞典銑鐵一、二月積百七十二圓、鐵板一分五厘以上下半年期積二百七十五圓三十錢、一分物四、五月積三百六十二圓五十錢、薄板二十七枚物五、六、七月積五百十二圓五十錢、平鐵コメット七、八月積六百二十圓四

十錢、鋳力板百七十封度物五十二圓と二圓高を唱へ、ナマ
コ板七 八月物五百八十七圓六十二錢と騰貴し、百封度物は
品薄の爲二十八圓と一圓五十錢方高値にて、棒物は品薄の
爲め相場立たず、アングルに至りて二百五十三圓五十錢と
八圓六十錢の奔騰を告げたり。内地は外鐵の強調相場に刺
戟せられ何れも高見越の状態にて丸棒九圓を唱へ居れり。

●**銑鐵閑散** 勞銀暴騰の爲め各地よりの入電依然強硬
なるも、内地商況在荷輻輳し、現在大阪一萬噸、東京七八
千噸の多額を擁せるのみならず、最近米國アラバマ銑、英國
クリブランド銑等は弗々入津を見るに至れり、玆許舊正の
境界とて渉々敷商談出來せざるより、市況は閑散落付きに
て相場變らず舶來百四十圓釜石百三十圓等なり。

●**米國鐵類相場** ビツバーク渡し鐵類相場左の如し。

銑 鐵(一噸)

ノ ザ ン

四二弗

サ ヲ ン

四〇弗

ベ セ マ ー

三八弗四〇仙

鋼 片(一噸)

ベ セ マ ー

四八弗

鋼 板(百封度)

タンクプレート

二弗六五仙

亞鉛引シート三〇番

五弗七〇仙

鐵 線(百封度)

亞鉛引 二八番

三弗九五仙

雜 錄

鋼 型(百封度)

二弗四五仙

鋼 棒(同)

二弗七五仙

鐵 釘(一箱)

五弗一九仙

鐵 力(百封度)

七弗

●**淺野綜合中學校設立** 淺野綜合中學校は淺野總一
郎氏の創立に係り、横濱市子安町字打越の丘上に建設せら
る。設立の趣意は我國に於ける現代の要求に應じ國民道德
を鼓吹し、實業上の藝能を授け、堅實なる中等國民を養成
せんとするにあり。現今我國の中學教育は一般教養に重き
を置き、高等教育の準備機關たるの觀あり。一方甲種農工商
の實業教育に於ては餘りに技能の分科に偏し、國民教育を
施し剛健なる人格を養成するには未だ十全なりと稱する能
はざるか如し。淺野綜合中學校の志す所は此教育界の缺陷
を補填し、大正の新時代に順應する新教育を施し、常に智
能のみならず、品性を陶冶し、藝能を實習して勞働の神聖
を體現し、國民として將た人として人生の意義を完ふせし
めんと欲するにあり。若し夫れ同校の特色としては體育を
勵行し相互扶助の共同生活を勸奨し、工場を設けて藝能を
授け科學教育を實驗的に施し語學教育を實用的になし、廣
き綜合的の教育を實踐して常識ある有用の人材を養成し我
國の中等教育に新生面を開かんことを期せり。

因に同校は來る四月より開校すと云ふ。尙ほ照會事項は
東京市麴町區永樂町一ノ一番地淺野同族株式會社内、同校
假事務所、又は横濱市東神奈川渡邊山立町一七一一番地同
校々長水崎基一氏宛のこと。